



※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は、甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた、舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」になって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

## 冬来たりなば春遠からじ

寒に入ると寒さが一段と厳しくなり、甲府でも水道管が凍るなど氷点下の日が続きました。子ども達から「寒くて耳が痛い」という声が出るほどの寒さでした。僅か10日ほどで季節が立春を迎えると、それまでの寒さが少し和らいできた気がします。今年はコロナ感染だけでなく、学級閉鎖の処置をとる小学校も出るなど、インフルエンザも流行する気配があります。寒さは続きますが「冬来たりなば春遠からじ」の通り、春はもうすぐそこまで来ています。ご家族揃って2つのウィルスの感染症対策にご配慮いただきますようお願い致します。

### 3学期学級役員認証式

3学期は、学習も生活もまとめの時期に入ります。そして、卒業・進級と次のステップへの準備段階でもあります。この日は、3学期の学級役員さんに認証状を渡しました。どの子も真っ直ぐに前を見て受け取り、やる気を見せていました。学級の仲間をしっかりとまとめて、1年間を締めくくってくれることと思います。



### 中学生による学校紹介

西中学区三校連携の中に中学生による学校紹介があります。本校の卒業生が母校である舞鶴小学校に戻ってきて西中学校の様子を説明してくれました。去年の6年生を思い出しながらも、子ども達は中学校1年生になった先輩の成長した姿に感銘や憧れを持ち、来年の自分の姿を重ねていました。

子ども達は、「人気の一番ある部活動は何ですか」「小学校の授業のスピードと中学校のスピードは違いますか。」と積極的に手を上げて質問していました。突然の質問でしたが、中学生の対応も素晴らしく、落ち着いて「小学校も中学校も教科書を基本に勉強していくので同じだと思います。ですが、今日勉強した範囲は、今日のうちに家に帰ってコツコツ復習すると分かるようになると思います。」など経験をもとに小学生にも分かりやすい回答をしてくれました。さすが西中生と感心させられるとともに、羽ばたいた子が成長した姿を見て嬉しく思いました。

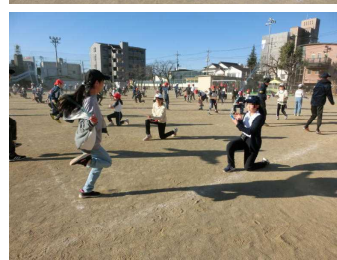


### 業前体育

コロナ禍のため子ども達の外に出る機会は大分減ってしまったようです。本校では、冬になると子ども達の体力づくりの一環として「業前体育」になわとびを取り入れています。久しぶりのなわとびでしたが、低学年は「勇氣100%」の曲に合わせてリズム良く跳んでいました。

上手に跳べたので思わず拍手をしましたが、後ろから拍手が重なり、振り返ってみると放送委員会の6年生の男子が、やはり拍手をしてくれていました。なわとびに真剣なまなざしで取り組む子ども達も素晴らしいですが、見守り拍手してくれた6年生の「思い遣る心」の美しさを感じました。

高学年は、低学年よりも高度な技になっただけでなく隊形移動や曲のテンポも変わり難易度があがっていましたが、久しぶりの縄跳びにもかかわらず、先生から出された動きのポイントの指示を確認し上手に跳んでいました。「習うより慣れる」の諺の通り、子どもの時に一度身についた動きは、時間が経っても体が覚えているのだと思います。



## 避難訓練



子ども達の安心安全の確保のために、1年間に何回か「避難訓練」を行います。はじめは先生がついて教室から避難経路を確認する段階なので、先生方の指導もあり、子ども達は落ち着いて避難しました。次は、休み時間など先生がいない状況でそれぞれの場所から避難する段階で、これも落ち着いて避難しました。今回は、先生にも子ども達にも知らせずに突然避難訓練を行いました。先生方は迅速に子ども達の安全を確認し、子ども達も先生がいない中でも落ち着いて避難していました。「災害は忘れたときにやってくる」のとおり、3.11の東日本大震災の教訓を忘れず、突然大地震が来ても教職員も子ども達も自分の命を守ることが出来るよう、これからも安心・安全な学校づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

## 3年生くらしの移り変わり

3年生は、社会科で「くらしの移り変わり」の学習を行います。昔と言っても100年くらい前の生活の様子を知り、現代の生活と比べて、昔の暮らしの良いところや苦勞を見だし、おじいさんやおばあさんの時代から暮らしを高めようとしてきた工夫を理解することがねらいです。

この日は、昔の画像を見た後、考古博物館の先生方が子ども達に「洗濯板での洗濯・石臼での粉挽き・天秤を使った水の運搬・背負子を使った重い荷物の運び方」の4つのコースを用意し、体験させてくださりました。子ども達は、「手が痛い・大変だ・重い・疲れる」などの感想を持ちながら、先人の苦勞や知恵を学んでいました。



## 町別児童会と集団下校

年度末を控え、これから学校では様々な引き継ぎが行われる予定です。来年度の登校班編制もその一つですが、町別に分かれて集合場所や時刻などの確認をしました。本校は学区が広いので、集合時刻も幅がありますが、子ども達は現状を振り返って微調整をしていました。集会が終わると校庭に町別の班ごとで集まり、集団下校となりました。新しい登校班長が先頭となり、今の登校班長が見守る形となります。新年度も登校班長さんを中心に安全に登校して欲しいと思ひます。



## 節分

本来ならば子ども達の前でお話を頂きたかったのですが、子ども達との接点をなくすため、また、子ども達の密を避けるため、本年度も穴切大神社の宮司である秋山様においでいただき、オンラインで子ども達に「節分」のお話をさせていただきました。綺麗な装束を身にまとい趣ある雰囲気を醸し出し、ノー原稿で低学年にも分かりやすい説明をしていただく姿にキャリアの深さを感じました。どうか子ども達に「福」が来ますように…



## クラブ活動

今年度も「クラブ活動」の時間を設定しました。クラブ活動は、少ない回数ですが、4～6年生が、自分の興味・関心のある活動を選んで参加します。フットサルやイラストなど伝統的なクラブに加えて、パソコンクラブでは、今ICTの活用の中で注目されている「プログラミング」に取り組んでいました。昔のようなプログラム言語ではなく、絵や図から直感的にプログラムを組むことができるようになっています。「うまくうごかない」場合もありますが、子ども達の飲み込みの速さは素晴らしいです。



## 授業参観に向けて－3年生－

授業参観に向けて3年生は、国語の紹介文の学習で「舞鶴小学校の良いところを紹介しよう」という内容を扱いました。子ども達の中に「舞鶴小の先生が良いことを紹介したい。先生の代表として、自学に取り組み賞状を渡している校長先生を紹介しよう。」と考えたグループがあり、賞状をもらう様子を子ども達が取材に来てくれました。子ども達はしっかりとした態度で臨み、クロームブックに記録を残していました。「しっかりとできましたね。」と声をかけると子ども達は、満面の笑みを浮かべてくれました。

